

ジ上にある機能食品通信のバックナンバー
 一覧を見ながら「どんな内容が良いのだろう
 か？」どの号とどの号を組み合わせよう
 か？」と考え始めました。

その試行錯誤をしている時、三重大学の先生

から「臨床試験の企画、実施、報告書完成までの流れに沿った冊子が有ると良いね。」とアドバイスをいただきました。他にもメーカー様から

「9回シリーズで掲載されていた『機能食品研究所は、なぜ10日で速報を出せるのか?』を一式、隣の研究室の〇〇さんに渡してあげて。」

「10日で速報を出す取り組み、バインダーに綴じて読み返しているよ。」

梅田さんと知り合って通信が届くようになった時が既にシリーズ3回目だったから1〜2回目を送って欲しい。デジタルも良いけど読み返すには紙媒体が良いね。」というお言葉をいただいた事を思い出し、そのシリーズをまとめた冊子にしようかと決定。

■『機能食品研究所は、なぜ10日で速報を出せるのか?』の内容

そのシリーズは2012年4月(31号)〜2013年1月(40号)までの9回続きました。内容は以下の①〜⑨の流れに沿って、弊社がどのように取り組んでおりますとご紹介でした。



ホームページ上のバックナンバー

- | | |
|---------|----------------------|
| ① 仕様書作成 | 試験内容を表にして、練り上げ。 |
| ② 計画書作成 | 仕様書を基に文章化。 |
| ③ 倫理委員会 | ヒトでの試験をする為に計画書等の審査。 |
| ④ 被験者募集 | 試験の目的に最適なモニターさんを選出。 |
| ⑤ 試験実施 | 被験物質を摂取・使用し、定期的に測定。 |
| ⑥ 速報 | 主要解析項目のデータ集計・グラフ化。 |
| ⑦ グラフ案 | グラフ案を作成。 |
| ⑧ 文章案 | 文章案を作成し、納得のいくまで練り上げ。 |
| ⑨ 完成 | 仕上げ。 |

この全9回シリーズ各々を緑色の紙(A3サイズに印刷して2つ折りにし、順番に重ねます。表紙を1枚載せてから2穴パンチで穴を空け、ヒモで綴って完成です。

本当は皆さんにお渡しさせていただければ良いのですが、このような手作りを社内で行ないますため、それができません。そこで今回ぜひ希望のかたにのみ無料でお渡しさせていただく事になりました。ご興味ただけでしたかたは、同封してあります応募用紙からご応募いただきますようお願いいたします。

■講演をお付けさせていただきたく流れ。

■お仕事でプレゼンをさせていただきたく機会があります。

昨年11月(62号)『紙上展示会 その5(文献調査編)』にて、新しい食品の表示制度が今春始まる予定であり、それらは【①商品に含有されている関与成分について、自社以外のかたが書かれたものでも良いので臨床試験の論文が世に出ていれば、複数の文献を集めて統計的に再評価するシステムティックレビューを実施。】②商品そのものについてUMI-N(ユニミン)臨床試験登録の後、臨床試験を実施し、その結果を査読付きの論文に掲載。】の、いずれかを充足する必要性があり、①②共に弊社でサポート可能であるご説明させていただきました。その話題の中で『文献調査及び調査結果をメーカー様の会議室にて営業・研究・広報・役員の皆様の前でプレゼンさせていただく』というお仕事を定期的に行なっているという内容を記載いたしました。今月は、講演・講義のご依頼がいくつかがございましたので、そのお話をさせていただきます。

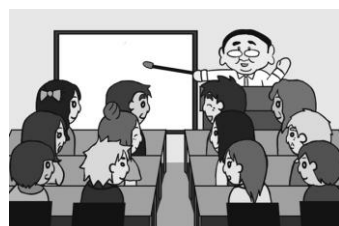
■講演や講義をさせていただきたく事もあります。

1月末頃、起業前からお世話になっている先生から「お久しぶり。なつくんですけど、会社を作った時の体験談を講演して欲しいけど、お願いできますか?」とお声がけいただきました。私で出来る範囲であれば講

演・講義などもお引き付けさせていただいております。

■まずは講演の起承転結や、講義の項目をやりとり。

「ご依頼いただいた瞬間に」「はい、喜んで!」と即座にお付けしたいのですが、まずは私でお役に立てるのかを確認させていただいております。



「ご依頼主様の求めていらっしゃる事が何なのかを把握しないままお引き付けしては、的外れな講演内容・講義内容となりかねません。よって、それを避けるためにもご依頼主様にまずは【講演内容の起承転結の流れに沿って数行ずつ要点をまとめたもの】や【講義でお話する項目名を並べたもの】をメールでお送りし「大まかではありますがこんな感じの内容で講演・講義の目的は充足できますでしょうか?」と伺う事にしております。その内容で「承りただけでしたら、他に何か加えた方が良いでしょうか?」とご要望を取り入れる作業へ移り、スライドなどの作成をします。

■聴講されるかたの背景も確認。

俗に言う『スベる』事が無いように、聴講されるかたの年齢やご所属

などの背景を前もって確認させていただいております。聴かれる方がご存じでないと予想される内容は噛み砕いて話すという準備をするためです。

少し話は逸れますが、私がお世話になっている先生で魅力的な講演・講義をされるかたがいらっしゃいます。聴かれるかたの背景に沿った流
行・冗談を織り交せてお話になられる姿を見るたび、私もいつかはそ
のようになりたいと憧れております。

一兎を追う者は一兎をも得ずになってはいけないので、先ずは皆さんが
求めていらっしゃる内容を的確にお話出来る技術を磨いていきます。そ
して、将来は流行・冗談を織り交ぜられるようになることを目指して
お話し
す。

【Comments】

■みえライフィノベーション総合特区 福祉用具・ものづくり研究会様
& 三重大学地域イノベーション育成室様 合同フォーラム(2月19日 津市
内)にて「ヘルスケア用具の臨床試験方法」「起業体験談」を講演させて
いただきます。ご依頼いただき、ありがとうございます。

■日本タイエット健康協会様 インストラクター養成講座(2月21日 大
阪市内)にて「タイエット情報のもっとなる研究データの見方」「体脂肪

のメカニズム」の講義をさせていただきました。ご依頼いただき、ありが
とうございます。

■弊社が受託させていただきました臨床試験結果を論文でお使いた
だきました。あしがうのじやくま。 Olopatadine, a non sedating
H1 antihistamine, decreases the nocturnal scratching without
affecting sleep Quality in atopic Dermatitis. Exp Dermatol. 2015
Jan 6. 三重大学医学部皮膚科様・精神神経科様・工学部ナノセンシ
ング研究室様・薬剤部様・免疫学様、機能食品研究所

■弊社が受託させていただきました臨床試験結果を論文でお使いた
だきました。あしがうのじやくま。 Efficacy of the combined use
of a facial cleanser and moisturizers for the care of mild acne
patients with sensitive skin. J Dermatol. 2015 Feb;42 三重大学
皮膚科様、花王株式会社様、機能食品研究所

回覧・印					

最後のページまでお読みいただき、ありがとうございます。
差し支えが無ければ回覧いただけると幸いです。